

令和8年6月22日

甲府市議会議長 岡 政 吉 様

民生文教委員長 堀 と め ほ

所 管 事 務 調 査 報 告 書

民生文教委員会におきまして、甲府市議会基本条例第18条第4項に基づき、所管事務調査及び政策研究のテーマを定め、調査・研究を進めてまいりました経過と結果について御報告いたします。

令和7年7月11日の委員会におきまして、発達障がいのある人が年々増加している傾向にある中で、早期に気づき適切な支援を行うことは個人の生きづらさを解消し、将来的な自立と社会参加の可能性を高めることにつながることから、今期の調査・研究テーマを「発達障がいの早期支援について」に決定いたしました。

同年9月1日の委員会におきまして、当局より本市の発達障がいに関する現状や支援体制について説明を受け、質疑を行い、マイ保健師による支援や甲府市発達障がい等スーパーバイズ事業等の具体的な取組について理解を深めました。

同年10月24日には、山梨県子どもこころサポートプラザ及び甲府市障害者センターの視察を実施し、実際に施設で行われている支援の状況や発達障がいをめぐる課題の説明を受け、発達障がいについての知見を広げました。

同年11月4日から6日までの日程で、愛知県碧南市、三重県伊賀市、大阪府守口市、愛知県日進市への行政視察を行い、発達障がいの早期支援につながる先駆的な取組などについて調査を行いました。

同年12月12日の委員会におきまして、行政視察の調査結果を踏まえ委員間討議を行い「重層的な支援体制の構築が必要ではないか」、「各自治体が個々の子どもや家庭に寄り添った支援体制を整えていると感じたので、本市においてもそのような体制の構築が求められるのではないか」、「発達障がいの理解促進につながる取組を進めることで、互いに認め合いながら誰もが暮らしやすく生きやすい社会になっていくのではないか」などの意見がありました。

令和8年2月9日には「発達過程における早期支援について」をテーマに、市民と議会の交流会を開催し、発達過程の支援に関わる施設職員及び保護者の方々から、学習障がいや発達障がいへの理解不足による気づきの遅れなど、早期支援の必要性について貴重な意見をいただきました。

同年2月26日の委員会におきまして、これまでの調査・研究及び市民と議会の交流会でいただいた意見等を踏まえ、委員間討議を行い「発達に特性のある子どもは小学校へ上がる際のハードルが非常に高く、就学してからも様々な職種の方の連携が必要である」、「学校での対応がまだまだ不十分ではないか」、「社会において発達障がいへの理解が不十分であると感じる」などの意見がありました。

同年4月3日の委員会におきまして、これまでの議論を踏まえた論点をまとめ、委員間討議を行う中で、改めて当局へ確認が必要な点を整理しました。

同年4月28日の委員会では、当局より本市の取組状況と課題について説明を受け、質疑を行う中で理解を深めるとともに、委員間で活発な討議を行いました。

同年5月20日の委員会におきまして、これまでの意見等を踏まえ、「母子への支援と相談体制」、「発達段階に応じた連携体制」、「市民への周知と理解の促進」の3点を柱とする政策提言の方向性について委員間で共有いたしました。

同年5月29日の委員会におきまして、1年間の調査・研究の成果として取りまとめた提言の内容に沿った委員会代表質問を行うことで合意が図られたことから、6月15日の本会議において委員会代表質問を実施しました。

これまでの経過を踏まえ、当局において特に取り組むべき事項を次のとおり取りまとめました。

「母子への支援と相談体制」として、母子に対するマイ保健師の関わりは就学前までが中心となっているが、発達に特性がある児については就学後も継続できる体制を検討すること、マイ保健師の業務負担を把握し、必要に応じて増員を検討すること、甲府市発達障がい等スーパーバイズ事業において保育施設の要請がない場合でも、乳幼児健康診査で発達に関する課題が見られ、保護者の承諾が得られれば巡回訪問ができる体制を整えること。

「発達段階に応じた連携体制」として、5歳児健康診査で発達に関する課題が見られた場合は、保護者の同意を得た上で保育施設等での関わりの情報を（仮称）支援移行シートとして作成し、小学校のクラス担任に情報連携されるよう検討すること。

「市民への周知と理解の促進」として、市民を対象とした発達障がいへの理解を深めるための講演会等の開催を検討すること。

以上が当委員会の調査・研究の大要であります。

当局におかれましては、本調査・研究の結果を十分に参考としていただきながら、発達障がいのある子どもたちが安心して成長でき、そして多くの安心と喜びを感じられるような支援体制の実現に向け、積極的に施策を展開されることを期待し、報告といたします。